

2020年度大学女性協会国内奨学生のお話を聴く会

上代日本語の文字表記

—上代特殊仮名遣いを中心に—

講師 大学女性協会2020年度国内奨学生

軽部利恵さん 奈良女子大学大学院博士後期課程2年・

日本学術振興会特別研究員（DC1）

日時 2021年1月18日（月）15：45～16：45

会場 アクティ奈良（奈良市高天町5-4 オガタビル5階会議室）

+ Zoom

*コロナ等の状況で、ZOOM のみに変更する可能性があることをご了承ください。

*ZOOM 参加用情報は、ご連絡いただいたメールアドレス宛 16日頃連絡します。

参加費 無料

申込方法 できるだけ 구글フォームからお願いします。

（電話やメールでも受け付けます）

連絡先 大学女性協会 奈良支部長 中道貞子

e-mail teikonakamichi@hotmail.co.jp

電話 090-5367-9778

申込締切 1月16日（土）



講演概要

漢字のみで読み書きされた奈良時代以前には、恋の心は「古」、心の心は「許」で書き分けられるという「上代特殊仮名遣い」と呼ばれる現象があります。上代一般の現象と考えられてきましたが、近年出土する木簡により、その様相は変わりつつあります。編纂物と一次資料という資料の性質の違いを軸に、上代日本語の文字表記についてお話しします。

国内奨学生とは？

大学女性協会は、「女性の高等教育の向上」「男女共同参画社会の推進」「国際協力と世界平和」を目指して活動しているNGOです。その活動の一つに、未来世代を応援するための「奨学・奨励」事業があります。軽部さんは、その優れた研究が認められ、今年度国内奨学生の一人に選考されました。